



2021年11月11日

各位

会社名 トナミホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 綿貫 勝介
(コード番号 9070 東証第1部)
お問合せ先責任者 専務取締役 高田 和夫
(TEL 0766 - 32 - 1850)

2022年3月期 第2四半期連結累計期間業績予想及び 配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2021年5月12日に公表いたしました2022年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想及び配当予想について、下記の通り修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正について

2022年3月期第2四半期連結累計期間業績予想の修正（2021年4月1日～2021年9月30日）

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 69,000	百万円 3,100	百万円 3,300	百万円 2,000	円 銭 220.69
今回修正予想(B)	65,700	3,600	3,800	2,600	286.90
増減額(B-A)	△3,300	500	500	600	—
増減率(%)	△4.7	16.1	15.1	30.0	—
(ご参考)前期実績 2021年3月期 第2四半期連結累計期間	64,083	2,415	2,727	1,654	182.49

※収益認識基準に関する会計基準(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

2. 連結業績予想の修正理由について

(1) 第2四半期連結累計期間の連結業績予想について

主力の物流関連事業においては、新型コロナウイルス感染症の拡大による緊急事態宣言の発出などの影響から、経済活動が制限されるなど、取扱物量が予想を下回って推移したため、営業収益は予想を下回る見込みです。

一方で、業務効率化による生産性の向上やコストコントロールの強化等に取り組んだ結果、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益はいずれも前回発表予想を上回る見込みとなりました。

(2) 通期連結業績予想について

通期の連結業績予想につきましては、当第3四半期以降の景気動向及び原油価格上昇にともなう燃油費の高騰等により、業績の先行きは不透明な状況で推移すると見込まれており、いずれも前回発表予想数値を据え置いております。

3. 2022年3月期配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回予想 (2021年5月12日公表)	円 銭 —	円 銭 50.00	円 銭 —	円 銭 50.00	円 銭 100.00
今回修正予想	—	60.00	—	60.00	120.00
前期実績 (2021年3月期)	—	50.00	—	50.00	100.00

[配当予想修正の理由]

2022年3月期の配当予想につきましては、当期の業績及び財務体質の状況を勘案し、本日公表の業績予想に基づき、本年度の中間配当につきましては、普通配当金10円を増配し、1株当たり60円とします。なお、年間配当金につきましては、中間配当60円に加え、期末配当60円(10円増配)とし、合わせまして1株当たり120円を予定しております。

<業績予想に関する注意事項>

上記の業績予想に関する記述につきましては本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上